

平成14年度 知能機械情報学専攻

大学院修士課程入学試験問題

「専門論述」

試験日時：平成13年8月28日(火)13:00～14:40

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題は問題1と問題2がある。全部に解答すること。
3. 問題の落丁、乱丁、あるいは印刷不鮮明な箇所があれば申し出ること。
4. 答案用紙は2枚配布される。枚数を確認し、過不足があれば申し出ること。
問題ごとに1枚の答案用紙を用いて解答すること。
答案用紙は表面だけを使用すること。
5. 答案用紙の指定された箇所に、受験番号、科目名の「専門論述」、その答案用紙で解答する問題番号を記入すること。
記入漏れの場合は採点されないことがある。
6. 解答に関係のない記号や符号を記入した答案は無効となる。
7. 答案用紙は、解答ができなかった分も含め、2枚全て提出すること。
8. この問題冊子にも受験番号を記入し提出すること。

受験番号

問題 1

以下の各問について答えよ。それぞれ答案用紙半分程度を目安とする。

- (1) 幅 30 cm、長さ 2 m の板でできた橋を渡るためのロボットの設計案をひとつ示し説明せよ。
- (2) 知能の実現のためには情報処理能力が不可欠である。しかし、たとえば電卓は知能機械といえるだろうか。知能機械の持つべき特徴について論ぜよ。

問題 2

修士課程で研究したいテーマについて、なぜそれを希望するか、どう研究をすすめるか、その研究はどのような学術的社会的意義をもつかなどの話題を含めて、簡潔に論述せよ。

